



9号 令和6年4月15日

<学校教育目標>

自ら伸びる ともに伸びる

# 校長だより

呉市立市阿賀小学校  
安宗 誠



## 桜吹雪に思う・・・

校内の桜の花もそろそろ見納めですが、桜にちなんだ私の大好きな短歌をご紹介します。それは・・・、

**散ればこそ いとど桜はめでたけれ この世に何か 久しかるべき**



直訳は、「散るからこそ ますます 桜は素晴らしい。無常の世で 何が長く続くだろうか。長く続くものなど ありなし。」となります。

これに、もう少し、自分なりの解釈も加えさせていただきますと・・・、

「確かにこの世は諸行無常です。毎年、時期が来れば、咲く桜の花も、同じように見えても、全く同じ花が繰り返し咲くわけではありませんし、咲き誇る時間も限られています。しかし、暑い夏に耐え、凍える冬をしのいで春を迎えれば、また見事な花を咲かせます。私たちも様々な苦難に耐え忍び、日々の営みを地道に積み重ねていけば、必ず花開くときが来ます。」

桜吹雪の舞う様子を眺めながら、改めて自分の人生をどう生きるべきか、考えさせられます。